

市へ質問



登別商店街に
アンテナショップ
辻 弘之

高齢・障がい・生活保護世帯などの就労支援のあり方について提言。労働基本調査項目や就労支援プログラムなどが見直されることになりました。また、質疑の中で、登別商店街空き店舗を活用したアンテナショップを検討していることが明らかになりました。その他、市民同士や行政との災害情報共有を目的に、QRコードによるメール配信システムが導入されることになりました。安心生活創造事業については、地域の要支援者60名への訪問支援が始まっています。



積極的な「行革」に
職員のやる気醸成を
石山 正志

行革遂行には「職員の意識改革」だがあるが、意識改革するには、やる気が湧かないと、思うような結果は導き出せないのではないかと。そのためには、仕事への貢献と報酬のバランスが重要であり、登別市版「人事評価制度」が必要だ。さらに、勤務成績不良や適格性欠如の職員を分限処分とする自治体も、少ないながらも出ている。毅然とした態度で臨むべきだ、との質問に市長は、現在行っている評価は見直したい。分限処分についても同感であり、毅然と取り組むと述べた。



温室効果ガスの
削減状況について
天神林 美彦

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく「登別市温暖化対策推進実行計画」における「温室効果ガス削減目標」の達成年度にあたり、設置した目標値に対する達成状況を聞きたい。
答 削減目標は、電力・車両用燃料・暖房用等燃料・一般廃棄物および廃プラスチックなどに対して、それぞれ種別別に二酸化炭素換算にて設置している。
全体目標の8%削減に対して、平成21年度において7.9%であり、ほぼ目標値に達成している状況にある。



子宮頸がんワクチンの
公費助成を
木村 俊子

①子宮頸がん予防ワクチンの公費助成に ついてどのような結論が出されたのか。
②少子化対策のため、23年度以降も妊婦健康診査の助成14回を継続するべき。
③乳がん・子宮頸がん無料クーポンは対象者が5歳ごとであることから、来年度以降3年間は継続するべき。
との質問に対しては、国や北海道の動向を見ながら検討したいとの答弁。
その他、河川のはらんを想定した防災マップでは局地的な豪雨による災害に対応できないのではないかとただした。



選挙事務の改善を
西村 孝夫

在宅投票制度の拡充について、市民からの要望は把握しているか。また、要望に対してどのように対応してこられ、今後どのように対応されるのか。
答 市民からの要望は聞いていないが、今後要望についてはしっかり対応していきたい。
質 期日前投票所の拡充について、登別温泉地区の増所を考えないか。
答 登別温泉地区の増所については、必要性を調査したうえで検討したい。



無料墓参バスの
運行について
平田 江美子

亀田霊園までの墓参バスについては、三年前に質問した経緯があり、道幅が狭く大きな駐車場がないということで、運行は考えていないとの答弁でした。再度、市民からの要望もあり取り上げました。交通手段を持たない高齢者にとっては、亀田公園入口から墓地までの坂道を歩いて行くにはきついものがある。一年に一回、お盆時期の「無料墓参バス運行」を求めました。
結果、検討したいと前向きな答弁がありました。



障がい者条例
制定の考えは
高橋 正美

北海道障がい者条例の特色は。
答 権利擁護の推進だけでなく、地域づくり・就労支援など障がい者が地域で暮らすことを応援する「包括的」で「総合的」内容を持った全国初の条例である。
質 障がい者条例を制定する考えは。
答 当市においては『福祉のまちづくり条例』の策定を予定しており、新たな障がい者条例をつくるのではなく、「障がいがあってもなくても誰もが住みやすいまち」となるような考え方を盛り込んでいくことが必要と考えている。